

### 三留野宿脇本陣

#### 増加し続ける旅人に対応するための別館

木曾にある 11 の宿場町のすべてに、大名、公家や幕府の役人が宿泊した本陣と、脇本陣の双方があります。脇本陣とは、本来本陣に収容しきれない人々や、身分が若干低い旅人が宿泊したホテルの別館のようなものでした。また、本陣を勤める家族に不幸があったなどの不吉なことが起こったことにより旅人が本陣に滞在できない時にも利用されました。

本陣は、江戸時代（1603 年～1868 年）初期に建築されましたが、ここにかつてあったような脇本陣は、中山道の交通量の増加に応じて後から追加されました。この宿は、この地の庄屋でもあった宮川家が建て、勤めていました。脇本陣は、1881 年の大火で焼失しましたが、再建されることはありませんでした。脇本陣は、この敷地の端にまで及んでいたと思われませんが、現在ここにある建物は住居として建築されたため、こじんまりとしたものになっています。